

ちばだい  
プレス

千葉大学広報誌

特集 Welcome to CHIBA UNIVERSITY!

平成30年度を迎えて

# 徳久剛史学長に聞く 理事からのメッセージ

海外で学びたい!

千葉大学OBOGインタビュー

43  
vol.  
2018 MARCH

平成30年度を迎えて

# 徳久剛史学長に聞く

国際教養学部や  
バンコクキャンパスなど  
中期目標3期目で着実な成果

平成16年度の国立大学法人化以降、各大学は6年ごとの中期目標に沿って運営をしており、現在は3期目となっています。3期目の新制度である大学3群制度では、各大学が目標とするレベルごとに3つのグループに分かれましたが、千葉大学を選んだのは、その中でもっとも高いレベル、全ての部局で世界最高の教育研究水準を目指す第3群です。現在の千葉大学は、この目標



教育と研究の両面で大きな成果を生んでいる千葉大学。新年度のスタートにあたり、大学を取り巻く状況や最新の取り組み、学生へのエールなど、徳久剛史学長に語っていただきました。

に向けて様々な教育改革・組織改革に取り組んでいるということを、学生の皆さんはまず知っておいてください。  
平成30年度は中期目標3期目の3年目に当たりますが、ようやく思っていたことが形になってきたという実感があります。その大きな成果の一つが国際教養学部です。現在の日本の教育においてグローバル化は必須要素ですが、国際教養学部は、グローバルな視点だけでなく、深い知性や教養を有した人材を育成することを目指しています。創設から2年が経過して、その教育成果は全学の普遍教育に浸透しつつあり、他大学と比べても教育の質が進化しているという自信を持っています。  
グローバルという点で、もう一つ最新のトピックを挙げると、平成29年9月、タイのマヒドン大学内に千葉大学のバンコクキャンパスを設置しました。タイは英語教育が盛んなうえに治安もよく、バンコクキャンパスは初めて海外留学を経験する学生の拠点となるはずなので、皆さんどんどん活用してください。

総合大学としての魅力を活かして  
平成30年度も新たな取り組みを推進

千葉大学の大きな魅力に、総合大学ならではの優位性があります。この強みを活かすのが、「トリプル・ピーク・チャレンジ」という考え方です。これは、理工系、人文社会科学系、医療系の各領域を3つの山として捉え、各領域が協力することで、その頂上ピークを高めるとともに、イノベーション

## グローバルな舞台で活躍するために 総合大学ならではの 多様性を経験してほしい

レシジョンをもたらすような研究テーマを創出するというものです。獲得予算も大きくなりますし、研究の社会的な影響力が高まれば、千葉大学の魅力もさらに高まっていくと期待しています。

トリプル・ピーク・チャレンジの成果は着実に上がりつつあり、文部科学省に採択された「千葉ヨウ素資源イノベーションセンター」が、平成30年5月の本格稼働を控えています。これは、千葉県が世界的なヨウ素の生産地であることを活かした産学連携事業ですが、ヨウ素は医薬品からハイテク素材まで幅広い用途があることから、学外からも大きな期待が寄せられています。

また、千葉大学がこれから注力する分野として準備を進めていた人工知能についても予算を獲得し、平成30年4月に亥鼻地区の「治療学人工知能(AI)研究センター」がスタートします。AIに関するトピックとしては、普遍教育科目への「データサイエンス科目」の新設もあります。今後はさらにAIを核にしてトリプル・ピークへの各領域の研究を融合するなど、最先端の取り組みを推進していく予定です。

他学部の人と知り合うことで  
広がる人脈。多様性を学ぶなら、  
クラブ活動がおすすぬ

新年度ということで、新入生も含めたすべての学生の皆さんに伝えたいのは、いろいろなことに前向きに挑戦してほしいということとです。なぜこれが必要かというと、多様性を経験してほしいからです。皆さんが社会に出ると、さまざまな人と出会います。特にグローバルな舞台で活躍するなら、考え方も価値観も違う人と向き合う機会は多いので、大学で多様性を実感しておくことはとても重要です。

そこで、特に新入生の皆さんにおすすぬしたいのがクラブ活動です。他学部の学生とどんどん知り合って、人脈を広げてください。出会う人数が多ければ多いほどいいと思います。人は他者と関わって生きていきます。これは言い換えれば、周囲の評価で自分の居場所や役割が決まってくるということ。私も学生時代は複数のクラブ活動に参加し、人と関わることで自分を知り、可能性を広げることができました。自分の殻を破るくらいのつもりで、クラブ活動に打ち込んでみてください。

### COLUMN 徳久学長ってどんな人?

- Q. 学長の学生時代について教えてください!**  
勉強もクラブ活動も思いきり楽しみましたが、特にヨット競技を始めたことが人生を変えました。留学のきっかけとなる師との出会いも、妻との出会いも、ヨットがきっかけでした。
- Q. 今、気になっていることは?**  
囲碁AIのすさまじい進化です。囲碁の長い歴史のなかで人間が考えもしなかった定石をAIがどんどん“発見”している。研究を離れても、やはりAIが研究活動にどの様に影響してくるかは気になりますね。
- Q. リフレッシュ法は?**  
学長室の窓からキャンパスを眺めることです。特に朝の早い時間は、刻一刻と色が変化して、見るたびに新鮮な感動を覚えます。

# 理事からのメッセージ

大学を運営面から支える理事の先生方から、  
これから千葉大学で学ぶ皆さんへメッセージが寄せられました。

## 企画・人事担当理事 中谷 晴昭 理事

医学部を卒業後、4年間ほど臨床医として患者さんを診ておりましたが、その後大学に戻り、留学期間を含め、約40年間、基礎研究・教育に携わってきました。千葉大学に赴任して23年間、薬理学教授として2500人の医学生に「薬物治療」について教育し、大学からベストティーチャー賞をいただきました。今の理事としての役割は、本学の目標・計画の立案、組織改革や採用・昇任の調整などです。千葉大生は非常に優秀でまじめな学生であるという印象を持っており、学生時代は勉学であれクラブ活動であれ、何か自分が熱中するものを見つけ、自信を持ってやり遂げることが重要です。そして良き友を作ってください。

## 教育・国際担当理事 渡邊 誠 理事

プロダクトデザインが専門領域で、大学院修了後は、企業で時計のデザインをしていました。その後大学に戻り、デザイン分野の教授となるのですが、そこで教育の質を上げるには国際化が欠かせないと痛感し、デザインを学ぶ学生の海外派遣を推し進めてきました。そのノウハウを全学展開させることになったのを契機として、現在は教育・国際担当の理事として皆さんの学ぶ環境を整えています。今の千葉大は300に迫る数の学生交流協定があり、海外で学ぶチャンスは年々さらに広がっています。これまでも多くの学生が海外で様々な経験をして、大きく成長した姿を見てきました。ぜひ、広い世界を体感してください。

## 研究担当 関実 理事

化学工学を専攻し、民間企業の研究員を経て大学教員になりました。今は研究戦略の企画立案推進、特に、グローバルプロジェクト研究基幹の運営を担っております。私が学生の頃は、第二次石油ショック後で、石油に依存した我が国のエネルギー構造の改革が叫ばれていました。そこで専門分野として、バイオマスエネルギーの研究ができる分野を専攻しようと考えました。研究に関してはこだわりが強いほうなので、割り切ることも大切だと言いつつ聞かせています。学生さんには「志、あるいは、夢を持ってください」と言っています。つねに、より高きものを目指して、個性を磨いて尖った部分も育ててください。

## 広報・情報担当 山田 賢 理事

広報や地域連携などの業務を担当しています。専門は中国史ですが、学生時代は、夏は旅行、冬はスキー、それから無秩序な濫読としての読書に明け暮れていました。今振り返れば、もっと勉強しておけばよかったとも思うのですが、あの頃のすべての経験が自分の基礎になっていると感じるので後悔はありません。20歳前後のこの時期は、多くの人のために人生の中でもっとも大きく成長し、未来を切り拓いていく一時期です。皆さんがこのさき成長していく時に何が糧となるのかはまだわかりません。貪欲に幅広い教養を身につけてください。その中からいつかあなたに力を与えるものが見つかるかもしれません。

## 総務担当 猿渡 政範 理事

全国の大学や文部科学省での勤務を経て、平成26年に千葉大学総務担当理事・事務局長に就任し、財務に関する業務を主に担当しています。大学時代は吹奏楽部に所属し、パートはホルンでした。合宿や定期演奏会など仲間と楽しく過ごしたことが懐かしく思い出されます。大学を卒業後、社会から求められるものは、習得した知識をどのように使いこなせるかという「企画立案力」と企画した内容をいかに実現させるかの「行動力」です。これらは、様々な体験を通して初めて身につくものです。千葉大生の皆さんには、千葉大学の学生であることの誇りを持って様々な経験を積み、この2つの力を身につけてほしいと思います。



さるわたり まさのり  
猿渡 政範 理事

やまだ まさる  
山田 賢 理事

せき のりる  
関実 理事

わたなべ まこと  
渡邊 誠 理事

なかや はるあき  
中谷 晴昭 理事

# 学びたい



工学研究科 建築・都市科学専攻  
都市環境システムコース 修士2年 たなべ りょうと  
(工学部都市環境システム学科 卒業) **田邊 諒士**さん  
留学先 ▶ マラヤ大学(マレーシア)  
留学期間 ▶ 2016年9月～2017年8月

大学入学後から日本縦断や海外旅行に行くようになり、未知の環境に身を置く楽しさから、海外で学生生活を送ってみたいと考えました。そして学部4年生の夏休み後半に派遣留学を決意。将来は新興国でインフラを整備したいと考えていたことと、選考までの準備期間などを総合的に考えて留学先を選び、新興国の自然災害対策をテーマとしてトビタテ! (※4)にも選ばれました。学部2年生のころ、海外研修英語(モナシュ大学・オーストラリア)でホームステイをしながら勉強した際に英語でうまく意思疎通ができなかった経験から、マレーシアへの留学では英語を実用的に学ぶためにも臆せずどんどん話すようにしました。派遣先大学では専門科目のほか、マレー

語やイスラム法など理系以外の講義にも積極的に参加し、多くの友人と出会いました。多民族が一緒に暮らす国なので、本当に多様な考え方や文化があり、日々新しい発見がありました。留学を通して成長した点は、①英語に対する不安を払拭し積極的にコミュニケーションを取れるようになった点、②多様性を認め、相手の意見をしっかりと聞いた上で自分の意見を論理的に発言できるようになった点、③日本人として自覚を持ち、日本が世界でどのように受け止められているのかを知り、グローバルで活躍したいという強い意志を持った点です。自分の将来の進路や使命をより明確にすることができたことは、就職活動にも活かしています。

※4 トビタテ!…正式名称は「トビタテ!留学JAPAN 日本代表プログラム」。学生自らが立案した様々な形の留学計画を支援する、返済不要の奨学金制度。1年に2回募集があり、千葉大学で書類作成や面接のアドバイスも受けられる。

1 マラヤ大学の校章の前で記念撮影  
2 留学生5人でルームシェア。写真はルームメイトと避暑地へ旅行に行ったときのもの  
3 マラヤ大学の国際交流イベントで実行委員を担当。書道と浴衣の着付けを実施しました



### 留学を目指す人へ!

留学は「自分の可能性」と「日本の魅力」を発見できる機会だと思います。費用や休学などのデメリットも考えてしまいがちですが、人生は1度きりですし私は留学したことについて後悔は全くしていません! 派遣留学を利用する場合は語学基準とGPAの成績が重要になるので、まずは大学の講義に専念することをおすすめします。

# 海外で



看護学部 看護学科 2年 きむら みえい  
**木村 美瑛**さん  
留学先 ▶ セイナヨキ応用科学大学(フィンランド)  
留学期間 ▶ 2017年2月～6月

中学生のときに行った海外研修が楽しかったこと、高校生のときに国際的に活躍する人たちに憧れたことから、大学では絶対に留学に行こうと決めていました。派遣留学(※1)について情報収集を始めたのは1年生の春休みで、きっかけは海外研修英語(アラバマ大学・アメリカ)(※2)への参加。そこで知り合った他学部の友達が派遣留学を目指していて、彼女の話聞くうちに私も興味を持ち、すぐに海外留学支援室に相談に行きました。奨学金は大学からの一斉送信メールで知ったErasmus+(※3)を利用しました。

留学前は、自分の専門について知識が十分でないことが不安でしたが、フィンランドで実習を

しながら必要な勉強をして乗り越えられたと思います。派遣先大学では授業のほか、現地の幼稚園・老人ホーム・障がい者施設・病院での実習、一人暮らしの高齢者のお宅にお邪魔してインタビューなどをさせてもらいました。面白かったのはやはり実習で、施設のスタッフさんや利用者さんと直接お話しして一緒に活動させてもらい、フィンランドの福祉を体験することができました。

結果として低学年での留学は良かったと思っています。帰国後、留学の経験を通してできた新たな興味や目標に向かって在学中に活動できるからです。学問の興味の幅が広がって、渡航前よりも学部での勉強が楽しく感じています。

※1 派遣留学…正式名称は「海外派遣留学」。千葉大学の協定校へ交換留学生として学生を派遣するプログラム。協定校が定める1学期～1学年の間、自分の専門分野について海外で学ぶ。  
※2 海外研修英語…実際に海外の大学に行って英語を学べるプログラム。一定の成績を修めると普通教育科目の単位が認定される。  
※3 Erasmus+…EUの教育プログラムの一環で、ヨーロッパ諸国へ留学する外国人学生が奨学金を受け取れる制度がある。

### 留学を目指す人へ!

長期間海外で生活することや語学に不安を感じる人もいます。そんな人はぜひ、実際に留学に行っていた先輩や友人に話を詳しく聞いてみてください。留学について鮮明なイメージがわき、ハードルが低くなると思います。



1 一番仲良くなった香港からの女の子と  
2 幼稚園実習の最終日に園児が絵をプレゼントしてくれました  
3 授業の合間に旅行に行きオーロラを見たり、サウナに入って温まり凍った湖に飛び込んだり、フィンランドを満喫しました

大学生になったらやっぱり海外にも目を向けたい! 留学したいけど、どんな準備が必要?先輩たちの経験談から、海外で学ぶイメージをふくらませてみませんか。

## INFORMATION

### 千葉大学の海外派遣学生数は 国立大学第1位!

千葉大学は海外の大学などと289の学生交流協定を結んでおり、協定に基づいた日本人学生の海外派遣人数は国立大学ナンバーワン! ※ 千葉大生にとって、海外留学はすっかり身近なものになっています。  
※日本学生支援機構の「平成28年度協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果」による

国際人へのステップアップを「グロすご」でイメージしよう!  
海外留学支援室などで配布している「グロすご」。学内の英会話サポートや様々な留学プログラムをかわいいイラストとともに紹介しています。裏面には利用可能な奨学金の情報も。ぜひ手に取ってじっくり見てみよう!



もっと知りたい人は、こちらのwebサイトもチェック!

ガイダンスなどの留学イベントの情報を見たい!

▶ 千葉大学skipwiseプログラム  
<https://skipwise.chiba-u.jp>



トビタテ!留学JAPANについてもっと知りたい!

▶ トビタテ!留学JAPAN(公式)  
<http://www.tobitate.mext.go.jp/>



先輩の留学体験記をもっと読みたい!  
派遣留学について知りたい!

▶ 海外留学支援室  
<https://cie.chiba-u.ac.jp/sase/>





## 新渡戸稲造が目指した「太平洋の架け橋」を庭園として具現化したい

ブリティッシュ・コロンビア大学内  
新渡戸記念庭園 庭園キュレーター

# 杉山 龍さん

カナダのブリティッシュ・コロンビア大学構内にある新渡戸記念庭園の庭園キュレーターを務める杉山龍さん。自身が管理に携わる庭園への想いや千葉大学の思い出について話を伺いました。

杉山 龍 (すぎやま・りょう)  
1975年生まれ。千葉大学園芸学部卒。同大学院で環境計画学修了。5年間の造園企業勤務後、2005年にワーキングホリデーでカナダへ渡り、オーガニックファームやランドスケープ関係の仕事に従事。カナダ永住権を取得後の2010年、ブリティッシュコロンビア大学の新渡戸記念庭園の前任キュレーターの退職に伴い、同庭園キュレーターに就任。

庭園を俯瞰的・総合的に管理するのが「庭園キュレーター」の仕事

庭園キュレーターというのはどのような仕事なのでしょう。

杉山 俯瞰的な視点から庭園を管理・運営していくのが庭園キュレーターです。キュレーターという仕事は、最近、博物館や美術館で知られるようになりましたが、専門的な知識を持った総合責任者のようなものです。庭園というのは長期的な管理が必要なので、どのような方向性を目指すのか、植え替えやメンテナンスのスケジュールをどうするかなど、総合的に判断しています。

カナダのブリティッシュ・コロンビア大学にある新渡戸記念庭園で庭園キュレーターを務めておられますが、海外で働きたいという思いはいつからお持ちだったのでしょうか。

杉山 子どもの頃から外で遊ぶのが好きだったので、漠然とはありますが、当時から自然に触れ合えるような仕事をしたいと考えていました。園芸学部を選んだのも、以前見たロンドンの公園の美しさに魅了されたことと、地球環境問題に関心があったからです。また大学時代は、国内外問わず旅に出るのが好きで、これらが「一度は海外で働いてみたい」という思いにつながっていったのだと思います。

千葉大学OBの森歓之助氏が設計した新渡戸記念庭園のキュレーターに

新渡戸記念庭園のキュレーターになる

までの経緯を教えてください。

杉山 大学卒業後は造園関係の会社に就職しましたが、やはり海外へ出てみたいという思いが強くなり、まずはワーキングホリデーでカナダへ渡り、オーガニックファームで働き始めました。新渡戸記念庭園は、国際連盟事務次長として日本と海外の橋渡しに尽力した新渡戸稲造の功績を讃えて造園されたものですが、設計を担当したのが千葉大学の先輩である森歓之助先生ということもあり、カナダへ渡ってすぐに見学に行きました。このときにお会いした前任の庭園キュレーターが日本人で、退任時に私のことを覚えていてくださり、指名してくれました。森先生が活躍されていたのは私が生まれるずっと前なので面識はありませんが、千葉大学が取り持ってくれた縁だったのかなと思います。

どのような点に面白さややりがいを感じていますか？ また、今後の目標などがあれば教えてください。

杉山 子どもの頃からの夢がかなって、四季折々に移り変わる景色を楽しみながら仕事ができている。また、バンクーバーは国際的な観光都市なので、この庭園にも多様な国籍のお客様が見に来られますが、お褒めの言葉をいただくことやりがいを感じますね。新渡戸稲造は生前、太平洋の架け橋になりたいと願っていたと聞きます。実はこの庭園自体も、日本とカナダの植物が共存していたり、池を太平洋に見立てていたり、新渡戸稲造の考えを具現化したものなんです。私自身、初めて任される庭園なのでまだ手探りではありますが、森先生

の設計意図をしっかりと理解し、新渡戸稲造の精神を反映できるように、バンクーバーの気候に合わせた庭園管理に努めたいと思います。

様々な体験を通して自分の可能性を広げてほしい

大学時代は海外旅行をよくされていたとのことですが、学生生活で印象に残っていることはありますか？

杉山 実習で興味深かったのは、京都での庭園実習です。名園・桂離宮などで実際に技官の方と作業をさせていただきました。新渡戸記念庭園でもインターンシップで学生の受け入れをしていて、千葉大生が来たこともあります。また大学生の頃いつもやっていたサッカーは、私の国際コミュニケーションに欠かせないものでした。それから、日本で結婚してからカナダに渡ったのですが、妻は千葉大学の同期で、初めて会ったのは入学前のオリエンテーションの時でした。そう考えると、大学時代の様々なことが今につながっていると感じますね。

最後に、千葉大生へのメッセージをお願いします。

杉山 若いうちにいろいろなものを見ておくの良いと思います。私も学生時代に海外旅行をしたことがきっかけになって、海外で働いてみたいと思いました。もちろん、これは海外に限りません。自分が今いる場所がすべてだと思わず、様々なものを見て体験する。そうすることで自分の可能性を広げてほしいと思います。



新渡戸記念庭園は1960年に千葉大学OBの森歓之助先生によって設計・造園され、メインコンセプトは新渡戸稲造の意志でもあった「太平洋の架け橋」。茶室も備えられ、世界中から訪れた人々が日本文化・庭園を楽しみ、国際交流を育む場となっています。

## パナマ・千葉大学コーヒー完成 友好式典開催

GLOBAL



左から、サザコーヒー鈴木会長、徳久学長、駐日パナマ大使ディアス閣下

パナマと千葉大学の今後のさらなる発展を祈念した「パナマ・千葉大学コーヒー」が、長年にわたりパナマのコーヒー農園と深い信頼関係を築いているサザコーヒーの全面協力により完成しました。2018年3月1日には発売を記念したイベントならびにパナマとの友好式典を行い、国際教養学部学生とパナマの大学からの教職員・学生がコーヒーを通じて交流しました。

## ろう者(デフ)サッカー 日本代表に本学学生

INFORMATION



今大会が日本代表として初の出場となる良知さん

工学部メテカルシステム工学科の良知壮太郎さんがろう者(デフ)サッカーの日本代表選手に選出され、2018年4月23日〜5月7日に韓国で開催される第4回アジア太平洋選手権大会に出場します。「代表の中でもスタミナがあることが武器。それを活かしてプレーしたい」と意気込みを語りました。普段は手話サークルウルトラマンの会でも活動しているそうです。

## CIRIC発足 千葉県のヨウ素資源活用へ

INFORMATION



連携企業4社と合同で「包括連携共同研究推進等に関する協定」を締結

千葉大学は今春より「千葉ヨウ素資源イノベーションセンター」(CIRIC) Resource Innovation Center) (CIRIC) を開所します。千葉県で生産されるヨウ素は世界シェアのうち21%を占めており、同センターの設立により、これまで海外での生産が中心だった高付加価値ヨウ素製品の開発・製造の拠点が千葉に置かれることとなります。次世代太陽電池の開発や資源のリサイクルなど、多様なヨウ素の活用を推進していきます。

## コクヨデザインアワードで グランプリ受賞

AWARD



徳久学長と受賞者記念撮影(左から八幡さん、三谷さん、柿木さん)

2018年1月18日、大学院工学研究科デザイン科学コース八幡佑希さん、柿木大輔さん、三谷悠さんのチームが、コクヨデザインアワード2017にてグランプリを受賞しました。コクヨデザインアワードとは、使う人の視点で優れた商品デザインを広くユーザーから集めて、商品化を目指すコンペティションです。海外からの応募も含めた作品総数1326点の中から、見事グランプリに輝きました。

## 世界にひとつだけの建物を造り続ける 菊川工業株式会社

OBOG MESSAGE

鈴木 翔 2011年工学研究科デザイン科学専攻修了  
高橋 克昌 2011年工学部都市環境システム学科卒業  
神谷 卓志 2013年工学研究科建築・都市科学専攻修了

### 想像を実現可能にする

お客様からいただいた建物のデザインを基に、製作・施工を可能にするための仕様決定や、図面作成を行っています。設計という「PCに頼り過ぎていた」設計を引くというイメージを持たれがちですが、菊川工業の設計は、お客様とのコミュニケーションを通じ、想像を実現可能にするお手伝いが一番の仕事だと感じています。これには所属していた研究室での「デザインサーベイ」の経験が活かされていて、地域の人々から話を伺い、地域社会に向けたデザイン提案を行う手法は、現在の業務に通じています。今後は、千葉大学で学んだことを糧に、国内外問わず活躍できる技術者を目標に努力していきたいと思えます。(設計部 鈴木さん)

### 建築に深く携わる営業

国内営業として主にセネコや設計事務所からの依頼に対応しています。単に客先を何件も訪問するような営業とは違い、一つの建築の初期から深くモノづくりに携わる「技術営業」の形を取っており、在学中に学んだことを活かして仕事にしています。様々な顧客や案件と接するので、製造業に関係が薄そうなお客や経験も役立ち場面が多く、理系学部以外も同じ敷地にある環境でいろいろなお客や考え方に触れられたことが強みになっています。(プロジェクト統括 1部 高橋さん)

### 設計から製作まで 全ての工程に関わる

建築物のオーダーメイド金物を取り扱うメーカーの営業兼プロジェクトマネージャーとして、時には自分で図面を引いたり現場で施工管理を行ったりしながら、モノづくりの現場である工場と施工現場のお客様とを結びつける仕事に従事しています。この仕事の面白いところは、一つとして同じことの繰り返しがない。オーダーメイド品を会社内外の様々な方々との折衝を繰り返しながら形にしていくことです。プロジェクトの最初は漠然としたイメージでしかなかったスケッチが次第に線が濃くなって、工場で作品として完成する時の喜びは、設計から製作までを一貫して行うこの会社で、その全ての工程に関わる今の立ち位置だからこそ味わえるものだと思います。(プロジェクト統括 2部 神谷さん)

## 工学部発祥の地は、東京・田町だった

工学部の前身は1921年に創設された東京高等工芸学校です。同校は日本の工芸産業教育を牽引し、デザイン界などに多くの人材を輩出しました。しかし1945年の空襲で焼失したため、松戸市に移転し、その後、千葉大学の工芸学部(のち工学部)に転じました。JR田町駅の南側、東京工業大学附属科学高等学校がある敷地の一角に、OBたちの手による同校の「校章」をかたどった記念碑が立っています。



校章は聖火を中心にマーキュリーの羽根、そこにハンマーと筆を組み合わせたもの

## 西千葉は「ロケット研究」発祥の地

西千葉キャンパスの地所は、もともと東京大学生産技術研究所のものでした。1955年、ここで、糸川英夫東京大学教授(当時)が23センチのペンシルロケット発射に成功し、日本のロケット研究が始まりました。それを記念する碑が、西千葉駅北口に建っています。現在の千葉大学には、ロケット研究とは異なる、新たな角度から「宇宙」を研究する「ハドロン宇宙国際研究センター」が大学院理学研究院に置かれています。



記念碑は貴井正納名誉教授が理事長をつとめるNPO法人ちばサイエンスの会が建立

## もっと知りたい 千葉大学

千葉大学は1949年に、県内にあった七つの学校の伝統を引き継ぎ誕生しました。150年の歴史を持つ学部も存在する本学の多彩な軌跡を、様々な角度から紹介します。大学HPのトップに載せている23本のコラムとともに、お楽しみください。

(国際教養学部 見城 悠)

千葉大学公式HP「もっと知りたい千葉大学」コーナーはこちら▶



## 附属図書館の「郭沫若記念文庫」とは

郭沫若は、近現代中国の文学者・歴史家として著名な人物です。草創期の千葉大学に図書や資料が少ないことを嘆いた大槻信良文学部教授(当時)が、1955年、中国科学院院長の要職に就いていた郭に書籍寄贈の手紙を書きました。元留日学生の郭は千葉県市川市で十年余り過ごした経験も持っていたため、依頼を快諾し、歴史書など三千冊を寄付けてくれました。現在、それらの文書は附属図書館の貴重書になっています。



市川市にある郭沫若記念館

## 菊川工業株式会社

http://www.kikukawa.com/



創業:1933年 従業員数:200名 千葉大学OB:4名  
オーダーメイドの金属建材を製造している会社です。お客様の要望に合わせて作るため、業界で初めて挑戦する仕事が多く、これまで多くの困難な課題もありましたが、様々な経験が財産となって現在のKIKUKAWAへとつながっています。求める人物像は「自考自行」できる＝「自ら考え、自ら行動する」ことができる人材です。自分の意見を持ち、メンタル、フィジカルともタフで、常にチャレンジ精神の旺盛な人財や、不器用でも、素直で真面目で、正面からぶつつかっていく誠実な人財は、大歓迎です。



▲施工事例:すみだ北斎館外装、薬師寺食堂天井、フジテレビ本社ビル球体展望室・内外装、スカイツリー展望台外装等多数



## I N D E X

- 02 特集 Welcome to CHIBA UNIVERSITY! ①  
平成30年度を迎えて 徳久剛史学長に聞く  
新年度を迎え、新しい取り組みにチャレンジする千葉大学。  
徳久学長にいろいろなお話を伺いました。
- 04 特集 Welcome to CHIBA UNIVERSITY! ②  
理事からのメッセージ  
千葉大学を運営面から支えている理事の先生方に  
新入生へのメッセージをいただきました。
- 06 特集 海外で学びたい!  
海外留学に興味のある皆さんに  
先輩の体験レポートとアドバイスを伝授!
- 08 特集 千葉大学 OBOGインタビュー  
遠くカナダのプリティッシュ・コロンビア大学で  
庭園キュレーターを務めるOBが登場!
- 10 TOPICS / もっともっと知りたい千葉大学